

主催 (公財) 福岡アジア都市研究所・共催 福岡市

「世界・アジアの中の福岡」を振り返り、 これからを考える

スピーカー 山下 永子氏

九州産業大学 語学教育研究センター 所長
地域共創学部 地域づくり学科 准教授
元(公財)福岡アジア都市研究所 主任研究員

欧米存みの公共図書館
の内容を充実
してほしい

デジタル美術
トリエンナーレの
再評価と再開

これまでの市のアジア交流の努力
が、みのりのが今後のアジアの
経済発展の時代なのだと思
っています
(その政策が重要)

アジアへの貢献

若者の派遣支援等

女性の割合が高.. 都府
福岡市だからこえ

子ども会議の発展版
として、子どもの貧困について
考える場 (国際的は
とモ? 国内も?)

世界的(は)女性会議の
国際的) 開催

アコースに あた「国際的」のように
アコースの人、わか者が集まることができる
場所が もっと あれば"いい"と思います。

例えば「アジアアコース」も「アジア映画祭」も楽しんで
いた方がいいから、もっと 日常的な 場所が
交流

あるといいなと思います。今福岡には アコースのあかい人々が
多く来ている。その人たちの 行き場が また何かを
作り出さないといいです。

リテラシー世智の発見
揮舞うか(っ)かり保障
されそのになつてほしい

アジアの芸術/カルチャーが
圧倒的に集まっている 場作り
& その発信
(日本国内での展覧会や公演の
巡回がよいかな...)

日本 - マルチリンガル率が高
高い街

各文化のコミュニティ構築/活性化
(Little China etc.)

① アジアに開かれた福岡が
あれば「国際化」に役立つ
オペラ座の建設は文化の

香りも高めることと併せて
② 日本独自の植物園を併設

ディズニーリゾートを
是非つくって頂きたい!!
観光、としての福岡市は
まだ少し弱いと感じています。

市内の小・中・高校で
「アジア学」のカリキュラム実施

平成の30年間で日本は
著しく競争力を失った。
相対的に国力が下りて
いく中で、通信、AI等の
競争力を持つ福岡市を目指す

めざせシアトル!
たのかなる
21世紀型の産業集積と
そのための人材吸引

今後の方向性は、
ハード面ソフト面
特に文化中心で
ベースは「子ども会基」
博多
新築

① 特区併小、公立小中学校が
中国語、韓国語を学ぶ。

② 福岡ポートターミナルを廃止し、
国際観光施設を作る

③ 市民の海外渡航を促進する
新施策 (e-センタ) を構想

④ 改正入管法を機に
外国人住民の生活支援を
徹底し

「多文化共生」の目標

留学生と大学ネットワーク
を基盤とした国際化
の実現

国際化に必要な
インフラを更に整備する。
(インリ-デジタルスクールなど)

アジアの中の
福岡市のプレゼンス向上
(文化・芸術を住かすことが
できるか。)

地域レベルで
多文化共生を
進めていく。

「アジア太平洋二国会議」に福岡
を招いたことは大使との
ビジネス展開や
文化交流事業の発展。

北九州市と福岡市の差は
何であらうか、
数々の差ではなかったのでは
ないか。どう考えても

子どもたちに。
国際化について
学ぶ環境をつくる。

多文化共生は市民教育はに成り立たない。
「教育システムの整備」はしにハイトの
攻撃がある。
自然にまかせるは在日肉體再燃
となる。

外国の方が日本(福岡)
での生活(文化も含めて)になる
ための住宅(田地)の建設。
(例. 大学の留学生会館)

観光開発の深掘り
・動物植物園の充実
・伝統文化(人形、博多織等)
の体験施設。

福岡空港を活用した地域開発
施設利用の高度化。

留学生・外国人が
活やくできるまち。
働くことができるか...

多文化共生社会
(市民レベル)では、
まだアジアの都市とは
いえないようです。

○他国線と福岡市内環状線に接続
(博多駅、空港線博多駅、三軒茶屋駅)
(北九州線博多駅と直轄線北九州)

※何にせよ、交通インフラ
整備がN-21788の要。